

1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

このじかんボタンは、じかんをまもりたい人のためのとうぐです。まるいかたちで、赤いいろをしており、つくえの上においてつかいます。

ボタンをおすと、「ピッ」と音がして、じかんをしらせてくれます。音は小さいですが、近くにいるとちゃんと聞きえます。つかい方はかんたんです。

学校へ行くまえや、しゅくだいをはじめのまえに、ボタンを一かいおします。

すると、十ぶんごとに音がなり、今どれくらいじかんがたったかわかるようになります。

音がなったら、つぎにすることをかくにんしましょう。

たとえば、しゅくだいをしているときは、

「ここまでやったらやすもう」
ときめることができます。

あそびじかんとべんきょうのじかんを、わけるときにもべんりです。

このボタンは、水にぬらさないようにしてください。

また、あそびでなんどもおすと、でんちがはやくなくなります。

ひつようなときだけつかうようにしましょう。
じかんをたいせつにしたいときにつかうと、毎日のせいかがすこしずつうまくいくようになります。



(1) じかんボタンをおすと、どうなりますか。正しい番号を○でかこみましょう。

- ① ボタンが大きくなる
- ② 色が変わる
- ③ 「ピッ」と音がして、じかんがわかる

(2) つぎの文の①に当てはまる言葉を文の中から探しましょう。

「じかんボタンを一かいおすと、① ① ① ぱんごとに音がなります。」

① () () ()

(3) つぎの文を、文の内容に合うようにならべましょう。

- ① 音がなる
- ② つぎにすることをかくにんする
- ③ ボタンをおす
- ④ じかんがどれくらいたったかわかる



(4) このボタンをひつようなときだけつかうようにしたほうがいいのはなぜですか。文のないようをもとにかきましよう。



1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

このじかんボタンは、じかんをまもりたい人のためのとうぐです。まるいかたちで、赤いいろをしており、つくえの上においてつかいます。

ボタンをおすと、「ピッ」と音がして、じかんをしらせてくれます。音は小さいですが、近くにいとちゃんと聞きえます。つかい方はかんたんです。

学校へ行くまえや、しゅくだいをはじめのまえに、ボタンを一かいおします。

すると、十ぶんごとに音がなり、今どれくらいじかんがたったかわかるようになります。

音がなったら、つぎにすることをかくにんしましょう。

たとえば、しゅくだいをしているときは、

「ここまでやったらやすもう」
ときめることができます。

あそびじかんとべんきょうのじかんを、わけるときにもべんりです。

このボタンは、水にぬらさないようにしてください。

また、あそびでなんどもおすと、でんちがはやくなくなります。

ひつようなときだけつかうようにしましょう。

じかんをたいせつにしたいときにつかうと、毎日のせいかがすこしずつうまくいくようになります。



(1) じかんボタンをおすと、どうなりますか。正しい番号を○でかこみましょう。

- ① ボタンが大きくなる
- ② 色が変わる
- ③ 「ピッ」と音がして、じかんがわかる

(2) つぎの文の①に当てはまる言葉を文の中から探し書きましょう。

「じかんボタンを一かいおすと、() ① ()
ぱんごとに音がなります。」

① () + ()

(3) つぎの文を、文の内容に合うようにならべましょう。

- ① 音がなる
- ② つぎにすることをかくにんする
- ③ ボタンをおす
- ④ じかんがどれくらいたったかわかる

() ③ ↓ ① ↓ ④ ↓ ② ()

(4) このボタンをひつようなときだけつかうようにしたほうがいいのはなぜですか。文のないようをもとにかきましよう。

解答例) でんちがはやくな
くなるから